

チーム47回生

3月号（令和3年3月23日発行）

先日、近所の桜並木を通りかかるとすでに開花が始まっていました。毎年満開の時期に来ようと思いつながら、タイミングを逃してしまいます。何もかもタイミングよくできればいいのですが、それはかなり難しい。4月からの新学年のスタートが、進路実現に向けてのいいタイミングになればいいのですが。そのためにも、春休みにしっかり準備をしておきましょう。

【2-1担任 中村 伴彰 先生】

49週後には卒業です。それまでに様々なこと（学校生活・進路・受験・行事など）と向き合い、何かしらの結論を出さないといけません。現実と向き合うのは、楽ではないというのは君たちもわかっているはずです。

しかし、確実に予知できる未来は存在しません。人生は何が起こるかわかりません。「どうせ無理だし…」と言うのは、本気を出してからでも遅くはないと思います。そのためにも、春休みの貴重な時間を大事にしてほしいですね。

【2-2担任 酒井 翼 先生】

この一年のメッセージを全てまとめます。||:当たり前を幸せだと思い、「もしかして」という危機意識を常に持ち、自らの思い出を寂しさと共に胸にしまい、童心を決して忘れず、今の自分を大切にしてください。人生に「セーブ」はありません。一回きりのRPGです。攻略本はありません。君たちが、君たちの世界を、君たちらしく生き抜くことが、このRPGをクリアするためのカギとなるのです。未来に幸多からんことを。:||

【2-3担任 山崎 寛之 先生】

6月に動き出した2年生が今日終わります。私は、もう少しできたなと思うこと、よく頑張ったなと思うこと色々あります。みんなも自分の中で褒めてあげられるところは褒めてあげてください。それと同時に出来なかった自分に次は後悔するなよと発破をかけてください。3年生になるための心の準備をしよう！

【2-4担任 宮本 崇宏 先生】

高校生活も残り少なくなってきました。進路実現に向かう47回生に、2つメッセージを挙げてみます。

「やるのか、やらないのか。そんなことを考えている時間が一番もったいない」

「今頑張った人は、一生頑張れる人間になれるかもしれない」

ぜひ春休みを上手に使ってください。自分の人生を決めるのは自分自身です。

【2-5担任 前多 明日美 先生】

高校生活の折り返し地点もすぎて、残りあと1年ですね。2年生の1年間はどうか。

できなかった行事、インターンシップなど、心残りも多かった1年だったのではないかと思います。3年生の1年間は、今年できなかった分もやりきって、高校の思い出もたくさん作って、自分の進路も切り開く、そんなガッツあふれる1年にしましょう！

【学年付 谷水 冴綺 先生】

「点滴石を穿つ」という言葉があります。「点滴」は雨垂れのことで、「穿つ」は穴をあける、掘るという意味です。わずかな雨垂れでも長い年月、同じ所に落ち続ければ、石に穴をあけてしまうということです。ここから、「小さな努力も根気強く続けていれば、やがて成功する」という意味で用いられます。石を穿つための努力、今日から始めよう。



「人」にやさしく

4月から新しい環境での学校生活が始まります。期待もあれば不安もあるでしょう。社会人になってかなり経ちますが、やはり新しい環境というのは慣れるまで大変です。だからこそまずは環境整備なのです。自分が1年間精一杯がんばれる環境、自分に優しい環境を自分で整えていきましょう。

ただ、環境整備を始める前に、少し考えてください。自分に優しい環境が、周りの人にとって厳しい環境になっていないか。周りの人もその人にやさしい環境を求めて環境整備をします。その環境が一致するとは限りません。譲り合いができるでしょうか。自分にも他の人にも優しい環境を整備していきたいですね。

自分も周りの人も同じ「人」です。4月、「人」にやさしくなれるみんなと出会えますように。

<今後の予定>

4月	8日(木)	着任式・始業式・入学式
	9日(金)	離任式・生徒対面式・新入生歓迎会
	12日(月)	課題考査・身体測定・検尿
	14日(水)	分教室対面式
	16日(金)	遠足
	19日(月)～23日(金)	交通安全指導週間

<保護者の皆様へ>

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業から始まった令和2年度でしたが、何とか年度末を迎えることができました。経験したことのない事態に対し、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。令和3年度も、47回生学年団へのご協力をお願い申し上げます。

年度末の学年積立会計報告を本日配付いたしました。返金があるご家庭におかれましては、4月8日以降に入金をご確認いただき、新クラスの担任へ領収書をご提出ください。